

除き、人工の水晶体（眼内レンズ）に交換する手術が行われます。

比較的簡単な手術とはいっても、実施する医療機関によって術後の視力に差が出るといわれます。眼内レンズには、一般的な単焦点レンズ、遠近両用の多焦点・3焦点レンズなど多くの種類があり、それぞれの患者に最適なレンズ選びも治療の要です。

患者数826人で1位の金沢医科大学病院は、最新の超音波白内障機器や、高精度の手術を支援するガイドシステム「VERION（ベリオン）」を北陸3県で唯一導入しており、「見え方の質」に徹底的にこだわった手術に取り組んでいます。

日帰り手術も可

ただ、白内障については「日帰り手術」も普及ってきており、その場合は入院期間が1日以下となるため、DPCデータには反映されません。患者にとってより負担の小さい手術を行っている病院ほど実績が少なめにカウントされてしまう可能性も考

えられるということです。また、個人クリニックなどで多数の手術をしているところもある

りますが、今回はDPCデータの報告があつた急性期病院に限ってランキングしています。

【椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄（腰）】 高岡整志会、背骨特化で他を圧倒

多くの日本人が悩まされている腰痛の原因として、代表的な病気が椎間板ヘルニアです。背骨は「椎骨」という骨で構成されており、5個の椎骨が連な

った腰の部分を腰椎といいます。椎間板は椎骨同士の間に挟まつていて、衝撃を緩和するクッションの役割を果たしています。

「ヘルニア」とは、ラテン語で

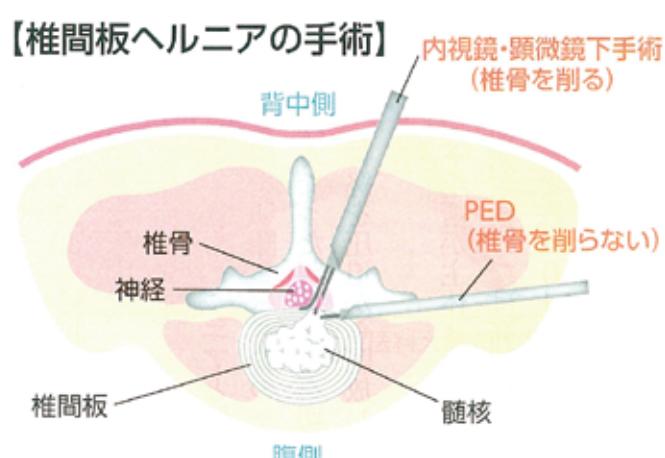
「飛び出た」という意味。椎間板の中 心部には、弾力のある「髓核」があ

る患者数の多い順(同数の場合は在院日数の短い順)

んこのよう に詰まつて います。こ れが椎間板 を突き破つ て飛び出す と、近くに

ある神経を圧迫して炎症を起こし、腰痛や脚の痛み、しびれなどが生じるのです。高齢者の病気というよりも、髓核がみずみずしい40代までの比較的若い世代に多くみられます。

ヘルニアの多くは時間とともに自然と縮小し、痛み止めを打つなどしながら様子を見ているうちに症状が消えるケースがほとんどです。ただ、数カ月たつても痛みがひどい、尿が出にくなどの支障がある場合は手術



を考える必要があります。

手術では、腰部を背中側から

切り開き、椎骨の一部を削って、
その奥にある椎間板ヘルニアを
切除し、圧迫を解消します。

この際、患部を拡大視し、神
経を傷付けずヘルニアを正確に
切除するため、実力病院では
「顕微鏡下手術」「内視鏡下手術」
を中心で実施しています。

また、従来型の手術では患部
を肉眼で見るために大きめに切
開する必要がありました。内
視鏡・顕微鏡下手術では細い筒
を患者の体内に挿入するだけで

表の「その他の手術」は多くが
顕微鏡下手術の実績で、整形外
科専門の高岡整志会病院が患者
数179人で最多、「内視鏡下
椎弓切除術」でも104人と、
いずれも1位でした。この症例
数は全国でもトップクラスです。

同病院では、術中に患部を多
方向から透視撮影できる最先端
の画像装置「O-arm（オーム
アーム）」を導入するなど、難し
い症例でも安全に執刀できる体
制を整えています。

D（ペド）は、背骨を削らずに
溶み、手術創も小さいため、患
者の回復がさらに早まります。
北陸で初めて手掛けた市立砺波
総合病院をはじめ、数施設でし
か実施していない高度な手術で
す。

病院選びでは、日本整形外科
学会が認定する「脊椎内視鏡下
手術・技術認定医」がいるかど
うかも重要なポイントです。北
陸3県で認定医がいるのは、富
山大附属病院、高岡整志会病院、
富山県済生会高岡病院、福井県
立病院の4施設となっています。

背骨の管のつぶれ直す

腰椎椎間板ヘルニアと同じく、
腰や脚などに痛み、しびれが出
る代表的な疾患として、腰部脊
柱管狭窄症が挙げられます。
この病気は、背骨の中央にある
トンネル状の神経の通り道（脊

視野が確保され、傷口が小さく
済みます。

細い内視鏡を用いることで、椎
骨の隙間を通して椎間板に到達
し、ヘルニアを切除する「PE

D（ペド）」は、背骨を削らずに
溶み、手術創も小さいため、患
者の回復がさらに早まります。
北陸で初めて手掛けた市立砺波
総合病院をはじめ、数施設でし
か実施していない高度な手術で
す。

柱管）が何らかの理由で狭まり、
神経を圧迫することで症状が現
れます。老化によって起る背
骨の変形が主な原因で、中高年

以上に多く発症します。

こちらの手術もヘルニアと同
様、背中側を切開し、背骨の一
部や分厚くなつた靭帯などを切
除して、神経を圧迫から開放し
ます。

顕微鏡下手術が主体となる表
の「その他の手術」では高岡整志
会病院が患者数404人と突出
しています。同病院は開院から
30年間で累積約2万例に及ぶ背

病院名	所在地	患者数	在院日数
1 富山県済生会富山病院	富山市	58	11.3
2 富山県済生会高岡病院	高岡市	46	19.6
3 金大附属病院	金沢市	21	22.8
4 福井県立病院	福井市	17	13.3
5 金沢市立病院	金沢市	15	15.0
6 市立砺波総合病院	砺波市	12	15.5
7 高岡整志会病院	高岡市	11	13.1
8 黒部市民病院	黒部市	11	20.7
9 公立羽咋病院	羽咋市	10	11.4

*患者数の多い順(同数の場合は在院日数の短い順)

骨の手術を手掛けた豊富な経験が評判を呼び、患者の5割以上は富山県外から訪れているといいます。

「内視鏡下椎弓切除術」では富山県済生会富山病院が58人で最多となり、2位には46人の富山県済生会高岡病院が続きます。

【股関節症】金沢医科大の人工関節 超高齢者でも手術可

中高年の女性に特に多い変形性股関節症は、関節を滑らかに動かす軟骨がすり減つて痛みが

るともいわれています。

性股関節症は、日本の推計患者数は200～300万人にのぼり、比較的若い世代の患者では、股関節を整形する手術が選択されますが、ひどく股関節が変形している場合などでは、丸ごと

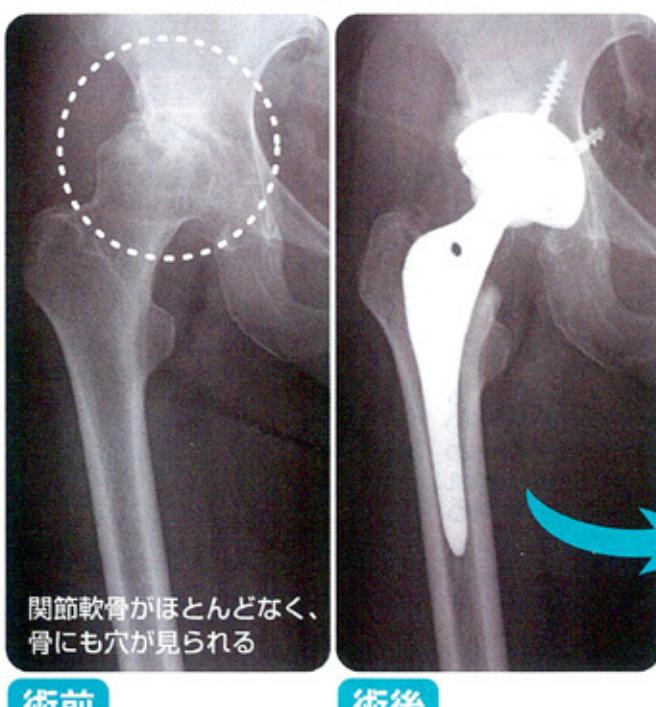
金属やセラミックのペーツに入れ替える「人工関節置換術」が行われます。患者数で1位の金沢医科大病院(155人)は、人工股関節置換術において全国でも上位の実績を持ちます。

同病院では人工股関節を固定する際、接着剤としてセメントを使わない「セメントレス方式」

脊柱管狭窄(腰) その他の手術			
	病院名	所在地	患者数
			在院日数
1	高岡整志会病院	高岡市	404
2	石川県済生会金沢病院	金沢市	125
3	金沢脳神経外科病院	金沢市	76
4	石川県立中央病院	金沢市	51
5	厚生連高岡病院	高岡市	50
6	金沢医科大病院	内灘町	34
7	富山赤十字病院	富山市	33
8	富山県立中央病院	富山市	32
9	福井大附属病院	永平寺町	30
10	福井県済生会病院	福井市	27
11	木島病院	金沢市	25
11	富大附属病院	富山市	25
13	金沢病院	金沢市	25
14	福井赤十字病院	福井市	25
15	西能病院	富山市	24
16	金沢医療センター	金沢市	24
17	福井総合病院	福井市	17
18	金大附属病院	金沢市	12
19	富山労災病院	魚津市	10
20	やわたメディカルセンター	小松市	10
21	黒部市民病院	黒部市	10

※患者数の多い順(同数の場合は在院日数の短い順)

【人工股関節手術】



(金沢医科大病院提供)

股関節症など 人工関節置換術など

	病院名	所在地	患者数	在院日数
1	金沢医科大病院	内灘町	155	32.5
2	富山県立中央病院	富山市	85	14.6
3	金大附属病院	金沢市	85	24.2
4	市立富山市民病院	富山市	67	26.5
5	富山県済生会高岡病院	高岡市	51	21.9
6	福井県済生会病院	福井市	43	23.1
7	福井大附属病院	永平寺町	39	28.9
8	富大附属病院	富山市	28	27.2
9	福井赤十字病院	福井市	28	44.1
10	富山県済生会富山病院	富山市	26	20.5
11	真生会富山病院	射水市	26	30.3
12	石川県済生会金沢病院	金沢市	19	32.4
13	厚生連高岡病院	高岡市	18	25.8
14	石川県立中央病院	金沢市	18	26.4
15	福井県立病院	福井市	17	27.2
16	西能病院	富山市	17	36.4
17	福井総合病院	福井市	16	32.1
18	市立砺波総合病院	砺波市	16	39.3
19	富山赤十字病院	富山市	15	30.2
20	金沢医療センター	金沢市	13	50.2
21	富山労災病院	魚津市	12	29.4
22	高岡整志会病院	高岡市	11	28.1

*患者数の多い順(同数の場合は在院日数の短い順)

膝関節症 人工関節置換術など

	病院名	所在地	患者数	在院日数
1	富山県立中央病院	富山市	89	25.5
2	福井総合病院	福井市	74	36.6
3	市立富山市民病院	富山市	73	27.8
4	富山県済生会高岡病院	高岡市	63	20.3
5	西能病院	富山市	62	33.0
6	富山県済生会富山病院	富山市	54	24.8
7	福井県済生会病院	福井市	53	21.7
8	厚生連高岡病院	高岡市	47	32.1
9	公立丹南病院	鯖江市	45	28.9
10	福井赤十字病院	福井市	42	36.4
11	富山赤十字病院	富山市	37	28.8
12	福井大附属病院	永平寺町	35	24.8
13	富大附属病院	富山市	33	31.0
14	石川県立中央病院	金沢市	32	29.5
15	金沢医科大病院	内灘町	31	32.9
16	八尾総合病院	富山市	30	30.4
17	金大附属病院	金沢市	28	22.5
18	黒部市民病院	黒部市	26	29.0
19	金沢赤十字病院	金沢市	24	39.8
20	高岡市民病院	高岡市	19	24.8
21	市立砺波総合病院	砺波市	19	33.1
22	公立能登総合病院	七尾市	18	34.8
23	市立敦賀病院	敦賀市	18	36.8
24	富山労災病院	魚津市	17	29.5
25	金沢医療センター	金沢市	16	46.9
26	福井県立病院	福井市	15	33.5
27	福井勝山総合病院	勝山市	14	38.4
28	石川県済生会金沢病院	金沢市	12	32.2

*患者数の多い順(同数の場合は在院日数の短い順)

を8割の症例で実施しているほか、接続部分の骨密度が低下しにくい設計のパーツを使うことで人工関節の耐用年数を大幅に延ばすことに成功しており、「術後10年後でも95%の割合で人工関節がちゃんと機能している」(同病院整形外科)といいます。

2位の富山県立中央病院(85人)は、CT画像とともに患部と人工関節の3Dモデルを作成してコンピューター上で入念な「仮想手術」を行っています。変形が著しい症例では石膏模型を作つて検討するなどし、綿密な手術設計に力を注いでいます。

その結果、術後に最も懸念される股関節脱臼(だきゅう)が起こるケースが極めて少なく、「ここ350例の置換術では、術後に脱臼が起きたケースはない」(同病院整形外科)と胸を張ります。

膝関節は富山県中

膝関節も股関節と同様、体重の負荷が掛かって軟骨が劣化しやすく、日本では約800万人が変形性膝関節症に悩まされています。

こちらは富山県立中央病院が患者数89人でトップで、福井総合病院(74人)、富山市民病院(73人)が上位に名を連ねています。

昨年は最高齢で91歳の患者に対しても置換術を実施しており、一般には手術が難しいとされますが、85歳以上の患者にも対応しています。

患者数では2位タイの金大附

膝関節も股関節と同様、体重の負荷が掛かって軟骨が劣化しやすく、日本では約800万人が変形性膝関節症に悩まされています。

こちらは富山県立中央病院が患者数89人でトップで、福井総合病院(74人)、富山市民病院(73人)が上位に名を連ねています。

A